

# SPA300/SPA500シリーズIP Phoneのプロファイルの設定

## 目的

セッション開始プロトコル(SIP)は、IPベースのネットワークでセッションを作成、管理、および終了するために使用されるシグナリングプロトコルです。SIPは、コール管理のメカニズムです。また、ユーザロケーションの確立と機能ネゴシエーションの提供により、セッションの参加者全員がサポートする機能について合意し、進行中にセッションの機能を変更できます。

このドキュメントの目的は、SPA300またはSPA500シリーズのIPフォンでプロファイルを設定する方法を示すことです。

## 該当するデバイス

- ・ SPA300シリーズIP電話
- ・ SPA500シリーズIP電話

## プロファイル設定

注：実際のSPA300またはSPA500シリーズのIP PhoneでシグナリングプロトコルをSIPとして設定する場合は、ナビゲーションキーを使用して[Device Administration] > [Call Control Settings] > [Signaling Protocol] > [SIP]にSIP]にに移動します。

ステップ1:Web設定ユーティリティを使用して、[Admin Login] > [Advanced] > [Voice] > [Provisioning]を選択します。[プロビジョニング]ページが開きます。

Configuration Profile			
Provision Enable:	yes ▾	Resync On Reset:	yes ▾
Resync Random Delay:	2	Resync At (HHmm):	
Resync Periodic:	3600	Resync Error Retry Delay:	3600
Forced Resync Delay:	14400	Resync From SIP:	yes ▾
Resync After Upgrade Attempt:	yes ▾		
Resync Trigger 1:			
Resync Trigger 2:			
Resync Fails On FNF:	yes ▾		
Profile Rule:	/spa\$PSN.cfg		
Profile Rule B:			
Profile Rule C:			
Profile Rule D:			
DHCP Option To Use:	66,160,159,150	Transport Protocol:	none ▾
Log Resync Request Msg:	\$PN \$MAC -- Requesting resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Resync Success Msg:	\$PN \$MAC -- Successful resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Resync Failure Msg:	\$PN \$MAC -- Resync failed: \$ERR		
Report Rule:			
User Configurable Resync:	yes ▾		
Firmware Upgrade			
Upgrade Enable:	yes ▾	Upgrade Error Retry Delay:	3600
Downgrade Rev Limit:			
Upgrade Rule:			
Log Upgrade Request Msg:	\$PN \$MAC -- Requesting upgrade \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Upgrade Success Msg:	\$PN \$MAC -- Successful upgrade \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH -- \$ERR		

ステップ2:[Provision Enable]ドロップダウンリストから[Yes]を選択し、再同期アクションを実行します。それ以外の場合は、「No」を選択します。デフォルト・オプションは「Yes」です。

ステップ3:[Resync On Reset]ドロップダウンリストから[Yes]を選択し、IP Phoneの電源が入ってアップグレードするときに再同期を実行します。それ以外の場合は、「No」を選択します。デフォルト・オプションは「Yes」です。

ステップ4:[Resync Random Delay]フィールドにランダム遅延時間を秒単位で入力します。リセットする前に、IP Phoneがブートアップ操作を行う時刻です。デフォルトは2 (40秒) です。

ステップ5:[Resync At (HHmm)]フィールドに時刻を24時間形式(hhmm)で入力します。IP Phoneが再同期する時刻です。デフォルトのエントリは空白です。

ステップ6:[Resync At Random Delay]フィールドにランダム遅延時間を秒単位で入力します。IP Phoneはランダムに遅延するため、複数のIP Phoneからの再同期要求間のサーバの衝突は発生しません。デフォルトエントリは600秒です。

ステップ7:[Resync Periodic]フィールドに定期再同期の時間を秒単位で入力します。この値が空またはゼロの場合、IP Phoneは定期的に再同期しません。デフォルトエントリは3600秒です。

ステップ8:[Resync Error Retry Delay]フィールドに、再同期の失敗後に再同期する間隔を秒単位で入力します。間隔がゼロの場合、再同期の失敗後にIP Phoneは再同期しません。デフォルトエントリは3600秒です。

ステップ9:[Forced Resync Delay]フィールドにIP Phoneの再同期を遅らせるための間隔を秒

単位で入力します。これは、IP Phoneが再同期の手順を遅延させるために行う遅延時間です。これは、音声回線がアイドル状態のときにファームウェアをリブートし、音声接続を終了した場合に限られます。デフォルトエントリは14400秒です。

ステップ10:[Resync From SIP] ドロップダウンリストから[Yes] を選択し、サービスプロバイダプロキシサーバから送信されるSIP NOTIFYイベントを使用して再同期する要求を制御します。それ以外の場合は、「No」を選択します。デフォルト・オプションは「Yes」です。

ステップ11:[Resync After Upgrade Attempt]ドロップダウンリストから[Yes]を選択し、アップグレード失敗後のIP Phoneの再同期を要求します。それ以外の場合は、「No」を選択します。デフォルト・オプションは「Yes」です。

Configuration Profile			
Provision Enable:	yes ▾	Resync On Reset:	yes ▾
Resync Random Delay:	2	Resync At (HHmm):	
Resync Periodic:	3600	Resync Error Retry Delay:	3600
Forced Resync Delay:	14400	Resync From SIP:	yes ▾
Resync After Upgrade Attempt:	yes ▾		
Resync Trigger 1:			
Resync Trigger 2:			
Resync Fails On FNF:	yes ▾		
Profile Rule:	/spa\$PSN.cfg		
Profile Rule B:			
Profile Rule C:			
Profile Rule D:			
DHCP Option To Use:	66,160,159,150	Transport Protocol:	none ▾
Log Resync Request Msg:	\$PN \$MAC -- Requesting resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Resync Success Msg:	\$PN \$MAC -- Successful resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Resync Failure Msg:	\$PN \$MAC -- Resync failed: \$ERR		
Report Rule:			
User Configurable Resync:	yes ▾		
Firmware Upgrade			
Upgrade Enable:	yes ▾	Upgrade Error Retry Delay:	3600
Downgrade Rev Limit:			
Upgrade Rule:			
Log Upgrade Request Msg:	\$PN \$MAC -- Requesting upgrade \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Upgrade Success Msg:	\$PN \$MAC -- Successful upgrade \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH -- \$ERR		

ステップ12:[Resync Trigger 1]フィールドにresync trigger 1と入力します。再同期操作は、条件式がtrueと評価された場合に実行されます。デフォルトのエントリは空白です。

ステップ13:[Resync Trigger 2]フィールドにresync trigger 2と入力します。再同期操作は、条件式がtrueと評価された場合に実行されます。デフォルトのエントリは空白です。

ステップ14:[Resync Fails On FNF] ドロップダウンリストから[No] を選択し、ファイルが見つからない応答をサーバから正常な再同期として受信します。そうでない場合は、[Yes]を選択します。既定のオプションは[はい]です。

ステップ15 : プロトコルとプロファイルURLを識別するプロファイルスクリプトのパラメータをプロファイルルールフィールドに入力します。デフォルト値は/spa\$PSN.cfgです。

ステップ16 : プロファイルスクリプトのパラメータを[プロファイルルールB]フィールドに入力し、2番目のresyncコマンドとプロファイルURLを指定します。デフォルトのエントリ

は空白です。

ステップ17: 3番目のresyncコマンドとプロファイルURLを識別するプロファイルルールCフィールドに、プロファイルスクリプトのパラメータを入力します。デフォルトのエントリは空白です。

ステップ18 : プロファイルスクリプトのパラメータを[Profile Rule D]フィールドに入力します。このフィールドには、4つ目のresyncコマンドとプロファイルURLを指定します。デフォルトのエントリは空白です。

ステップ19:[DHCP Option To Use]フィールドにDHCPを入力し、ファームウェアとプロファイルを取得します。

Configuration Profile			
Provision Enable:	yes ▼	Resync On Reset:	yes ▼
Resync Random Delay:	2	Resync At (HHmm):	
Resync Periodic:	3600	Resync Error Retry Delay:	3600
Forced Resync Delay:	14400	Resync From SIP:	yes ▼
Resync After Upgrade Attempt:	yes ▼		
Resync Trigger 1:			
Resync Trigger 2:			
Resync Fails On FNF:	yes ▼		
Profile Rule:	/spa\$PSN.cfg		
Profile Rule B:			
Profile Rule C:			
Profile Rule D:			
DHCP Option To Use:	66,160,159,150	Transport Protocol:	tftp ▼
Log Resync Request Msg:	\$PN \$MAC -- Requesting resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Resync Success Msg:	\$PN \$MAC -- Successful resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH		
Log Resync Failure Msg:	\$PN \$MAC -- Resync failed: \$ERR		
Report Rule:			
User Configurable Resync:	yes ▼		

Firmware Upgrade

ステップ20:[トランスポートプロトコル]ドロップダウンリストから目的のトランスポートプロトコルを選択し、ファームウェアとプロファイルを取得します。[None]を選択すると、TFTPはプロファイルとして想定され、DHCPサーバのIPアドレスがTFTPサーバのIPアドレスとして使用されます。既定のオプションは[なし]です。

- None:TFTPがプロファイルとして想定され、DHCPサーバのIPアドレスがTFTPサーバのIPアドレスとして使用されます。デフォルトは none です。
- TFTP:Trivial File Transfer Protocol(TFTP)は、非常に少量のメモリを使用するファイルおよびデータ転送に使用される単純なプロトコルです。
- HTTP:Hypertext Transfer Protocol(HTTP)は、World Wide Webのベースとなるアプリケーションプロトコルです。
- HTTPS:Hypertext Transfer Protocol Secure(HTTPS)は、セキュアな通信プロトコルです。

ステップ21:[Log Resync Request Msg]フィールドにログ再同期要求メッセージを入力します。このメッセージは、再同期が開始されたときにsyslogサーバに送信されます。デフォルトは\$PN \$MAC - Requesting resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATHです。

ステップ22：再同期の試行が成功したときに発行される[ログ再同期の成功メッセージ]フィールドにログ再同期の成功メッセージを入力します。既定値は\$PN \$MAC -Successful resync \$SCHEME://\$SERVIP:\$PORT\$PATH — \$ERRです。

ステップ23：再同期の試行が失敗したときに発行されるログ再同期エラー・メッセージをログ再同期メッセージフィールドに入力します。デフォルトは\$PN \$MAC - Resyncfailed:エラー(\$ERR)。

ステップ24:[Report Rule]フィールドにレポートを入力し、IP Phoneの現在の内部設定をレポートします。デフォルトは空です。

ステップ25:[User Configurable Resync] ドロップダウンリストから[Yes] を選択し、IP Phone画面から電話機を再同期させます。それ以外の場合は、「No」を選択します。デフォルトは「Yes」です。

ステップ26:[Submit All Changes]をクリックして、設定を保存します。